

保育者のニーズに沿った幼児曲に関する研究 (2)

—幼児曲集改訂作業における新規選定曲の分析と編曲の過程—

A Study on Infant Music Tailored to
Kindergarten and Nursery Teacher's Needs (2) :
The Process of the Analysis of New Selection Songs and the Arrangement
in Infant Music Collection Revised Work

中村礼香*・中村ますみ**・新村元植*

Ayaka Nakamura, Masumi Nakamura, Genshoku Shimmura

*鹿児島女子短期大学

**鹿児島国際大学

本稿の目的は、幼児曲集『うたとあそび』を改訂出版する際に新規に選定した楽曲や掲載楽譜の編曲作業について考察することである。まず、保育者からの質問紙調査の結果に基づいた新規掲載楽曲と筆者らの現場で活用してほしい楽曲について、導入の経緯とそれらの分析結果を述べた。次に、伴奏に対するニーズの分析や和音記号の採用の意図について論じ、伴奏の簡易化を目的としながらも作曲者の意図や楽曲の持ち味を損なわないようなことを目指した編曲作業について報告した。さらに、新旧両方の『うたとあそび』を使用している学生への質問紙調査を行った結果について報告し、今後の詳細な分析を通してさらなる改良点を見出していく必要があることが認識できた。

Key words : Infant Music, Kindergarten and Nursery Teacher's Needs, Arrangement
幼児曲、保育者のニーズ、編曲

1. はじめに

筆者らは、平成29年度より鹿児島県内の保育現場及び保育者養成校で使用されている『うたとあそび』（鹿児島市幼稚園協会編）という幼児曲集を約30年ぶりに改訂することに取り組み、平成31年4月に共同音楽出版社より出版するに至った。この改訂にあたって、鹿児島県全域の保育者に質問紙調査を行い、613名の保育者からの回答を得、それを基に選曲を行った。旧『うたとあそび』の中から継続掲載する楽曲と削除する楽曲を選定した経緯については、2018年に報告を行っている¹⁾。この幼児曲集の改訂点は、発行当初から今回改訂するまでの30年の間に新しく生まれた現代の子どもたちに歌い継いでほしい曲を追加したこと、ピアノが苦手な学生や保育者も弾きやすい楽譜にしたこと、「歌」から「遊び」への発展方法を提示したことの大きく3点が挙げられる。

本研究では、掲載新曲の選定過程、伴奏に対する保育者や学生からの要望の分析とそれらを活かした編曲作業の過程、さらに新旧両方の『うたとあそび』を使用している学生への質問紙調査の結果について述べる。

2. 新たに掲載することとした楽曲

新『うたとあそび』（以下新版）には全160曲を掲載している。そのうちの115曲は2018年に報告したように旧『うたとあそび』（以下旧版）より継続掲載した。残りの45曲は保育現場からの声や、筆者らが子どもたちに歌い継いでほしいと願っている曲を中心に選曲を進めた。選曲に当たっては、日常の保育で使いやすい曲、行事で使いやすい曲など様々な場面を想定して検討を行った。本章では、それら45曲を選曲した理由について述べる。

2-1 質問紙調査結果からの掲載楽曲

まずは、保育者に対して質問紙調査を行った際に、現場から掲載してほしいという希望が出てきた楽曲について述べる。保育者へ行った質問紙調査では、質問の一つに「『うたとあそび』に掲載してほしい曲があれば、最大5曲までご記入ください。」という項目を設定した。たくさんの回答が得られたが、最も得票率の高かった曲目は、87名の保育者が希望した「にじ」、2位は55名の保育者が希望した「さんぽ」であった。続いて3位は27名の「世界中のこどもた

ちが」と「にじのむこうに」、5位は26名で「Happy Birthday to You」であった。以下上位30曲までの曲目を表1に示している。

基本的には30曲を全て掲載することとしたが、1曲1曲を検討した上で①「ありがとうの花」②「すてきなパパ」③「小さな世界・子どもの世界」④「ドロップスのうた」⑤「あしたははれる」⑥「すいかの名産地」⑦「パンダうさぎコアラ」⑧「ビリーブ」の8曲は以下の理由により掲載を見送った。

「すてきなパパ」「小さな世界・子どもの世界」は掲載をしたかったが、著作権の問題で載せることが難しかった。「ありがとうの花」「あしたははれる」「ビリーブ」「ドロップスのうた」は音域やリズムなどを鑑みて、小学生向けの

歌であると判断したため掲載をしなかった。実際に「あしたははれる」は小学校3年生の音楽の教科書（東京書籍）、「ビリーブ」と「ありがとうの花」は小学校5年生の教科書（教育芸術社）に掲載されている曲である。「パンダうさぎコアラ」は良く使われる曲であるが、ピアノを弾きながら歌うというより、CDを流しながら保育者も一緒に動いて歌う曲だということで掲載を見送った。そして「すいかの名産地」は歌詞が結婚式について歌っているものであり、歌から保育に結び付けることが難しいと判断したため掲載を見送ることとした。質問紙調査の結果から掲載を検討した30曲の中から以上のように8曲を除いた22曲を採用した。ただし、「ドレミの歌」に関しては、日本語歌詞の著作権の問題により、歌詞を省略した楽譜を掲載した。

表1 保育者が新『うたとあそび』に掲載を希望する上位30曲（掲載しなかった曲には×を記載）

順位	希望する曲目	作詞	作曲	人数	掲載
1	にじ	新沢としひこ	中川ひろたか	87	○
2	さんぽ	中川李枝子	久石譲	55	○
3	世界中のこどもたちが	新沢としひこ	中川ひろたか	27	○
3	にじのむこうに	坂田修	松山祐二	27	○
5	Happy Birthday to You	ミルドレッド・J. ヒル パティ・スミス・ヒル	ミルドレッド・J. ヒル パティ・スミス・ヒル	26	○
6	どんな色がすき	坂田修	坂田修	25	○
7	ドレミの歌	ベギー・葉山	リチャード・ロジャース	21	○
8	さよならばくたちのほいくえん	新沢としひこ	島筒英夫	20	○
8	手のひらを太陽に	やなせたかし	いずみたく	20	○
10	アイスクリームの歌	佐藤義美	服部公一	14	○
11	山の音楽家	水田詩仙	ドイツ民謡	13	○
12	ありがとうの花	坂田修	坂田修	11	×
12	すてきなパパ	前田恵子	前田恵子	11	×
14	ぼくのミックスジュース	五味太郎	渋谷毅	10	○
15	ともだち賛歌	阪田寛夫	アメリカ民謡	9	○
16	赤鼻のトナカイ	ジョン・マークス	ジョン・マークス	7	○
16	あめふり	北原白秋	中山晋平	7	○
16	かもつれっしゃ	山川啓介	岩松正司	7	○
16	小さな世界・子どもの世界	ロバート・シャーマン リチャード・シャーマン	ロバート・シャーマン リチャード・シャーマン	7	×
16	ちょうちょう	野村秋足	スペイン民謡	7	○
16	ドロップスのうた	まど・みちお	大中恩	7	×
16	はじめの一步	新沢としひこ	中川ひろたか	7	○
16	やきいもグーチャーバー	阪田寛夫	山本直純	7	○
24	あしたははれる	坂田修	坂田修	6	×
24	幸せなら手をたたこう	木村利人	アメリカ民謡	6	○
24	すいかの名産地	高田三九三	アメリカ民謡	6	×
24	にんげんっていいな	山口あかり	小林亜星	6	○
24	パンダうさぎコアラ	高田ひろお	乾 裕樹	6	×
24	ビリーブ	杉本竜一	杉本竜一	6	×
24	むすんでひらいて	作詞者不詳	ジャン＝ジャック・ルソー	6	○

2-2 古くから伝わる楽曲

次に、古くから伝わっており今後も子どもたちに歌い継いでほしい楽曲を筆者らが挙げ、表2の9曲を掲載した。

表2 古くから伝わる楽曲

曲目	
ちゃわんむしのうた	鹿児島県の郷土の歌
ねんねがせ	
浦島太郎	昔話の歌
金太郎	
うさぎとかめ	
桃太郎	
ほたるこい	わらべうた
なべなべそこぬけ	
おしくらまんじゅう	

まずこの『うたとあそび』という曲集は主に鹿児島県の保育現場、保育者養成校で使用されるため、鹿児島の郷土の歌として「ちゃわんむしのうた」と「ねんねがせ（徳之島の子守唄）」を掲載した。「ちゃわんむしのうた」はNHK教育テレビの「にほんごであそぼう」で取り上げられたことによって全国的に知られることとなった鹿児島を代表する歌である。また、鹿児島県に存在する子守唄の中でよく知られていて口ずさみやすい曲として「ねんねがせ」を掲載した。

また、昔話の曲として「浦島太郎」「金太郎」「うさぎとかめ」「桃太郎」を掲載した。これらの曲は歌を最後まで歌うことでストーリーがわかるようになっているが、最近の保育者向けの楽譜集にはほとんど掲載されておらず、最後まで歌詞を知る機会はない。昔話の歌はたくさん存在するが、その中でも良く知られている曲、そして発表会でも題材になりやすい曲を基準に選曲した。

さらにわらべうたから、季節を感じることでできる歌として「ほたるこい」、触れ合い遊びを楽しんだり、考えたりして楽しむことができる歌として「おしくらまんじゅう」「なべなべそこぬけ」を掲載した。学生たちは「おしくらまんじゅう」や「なべなべそこぬけ」の曲は知っていても遊んだ記憶はあまり無いようで、特に「なべなべそこぬけ」を大人数で行う方法や楽しさを知らないようである。このような曲集に掲載することによって、保育者養成校で遊び方を知り、保育現場で使いやすくなるのではないかと考え、これらの曲を選曲した。

2-3 日常の保育の中で使いやすい楽曲

例えば、子どもたちと歩く活動をしたとき、駆け足をしたとき、揺れる活動をしたとき、触れ合いながら歌いときなど場面に応じて使いやすく、保育者も弾きやすい曲を取り上げた（表3）。

表3 日常の保育の中で使いやすい楽曲

曲名	作詞	作曲
ぶんぶんぶん	村野四郎	ボヘミア民謡
こいぬのマーチ	久野静雄	外国曲
ホ！ホ！ホ！	伊藤アキラ	越部信義
たのしいね	山内佳鶴子	寺島尚彦
おかたづけ	不詳	不詳

「ぶんぶんぶん」はメロディがCからGまでの5音のみで構成されているため、ポジション移動がなく、指と弾く音が常に一致している曲である。左手の伴奏も2コードのみのため八分音符や十六分音符の細かなアレンジにも対応でき、駆け足の活動などで使いやすい。また先述したように指使いに対する負担が少ないため、移調にも取り組みやすい曲である。

「こいぬのマーチ」は「マーチ」という言葉の通り、歩いたり行進したりする際に使いやすい曲である。小学校1年生の鍵盤ハーモニカの教材としても取り上げられている曲でもあり、ピアノ初心者にとっても弾きやすい。

「ホ！ホ！ホ！」は揺れる活動に発展させることのできる曲である。「ホ！ホ！ホ！ホ！」の歌詞の時は縦揺れ、「ユーレ ユーレ ユーレ ユーレ」のときは横揺れなど、複数人で手をつないで揺れたり、大きなスカーフなどを持って揺れたりと動きを伴って歌いやすい。筆者らも音楽療法やリトミックの実践の中でよく利用している。

「たのしいね」は二人で向き合って手を合わせたり、目を合わせたりしながら歌う曲である。「あなたのみぎて わたしのひだりて」「あなたのこえと わたしのこえと」といったように他者を意識するきっかけを作ることができる歌詞が入っている。

「おかたづけ」はすでに保育現場で日常的に使われている実態があるため、掲載することとした。片付けをしてほしい場面のときに、保育者がこの曲をピアノで弾いたり歌ったりすることによって、子どもたちが片付けに移行しやすい環境を作ることができる曲である。

2-4 行事と共に使いやすい楽曲

保育現場では様々な行事が行われる。遠足、季節の行事や、発表会などで使いやすい楽曲として挙げたものを表4に記載している。

表4 行事と共に使いやすい楽曲

曲名	作詞	作曲
動物園へ行こう	海野洋司	バックストン
ピクニック	萩原英一	イギリス民謡
おにのパンツ	不詳	L. デンツァ

旧版には、「えんそく」や「ゆうらんバス」が掲載されていたが、どちらの曲も保育者613名中1%程度しか使用しておらず、削除することとなった。その代わりとして、「動物園へ行こう」と「ピクニック」を掲載することとした。これらの2曲は歌詞の中に様々な動物が出てきたり、オノマトペが出てきたりと子どもたちに親しみやすい内容で遠足やバス旅行に行く際の気持ちを高めてくれる曲である。

「おにのパンツ」は、学生が2月の実習に行く際に保育現場からピアノを練習してくるようと言われる曲の一つであった。そのことから保育現場で良く使われるのだろうと判断し、掲載することとした。

2-5 食べ物に関する楽曲

保育現場では食育にも力を入れているため、食べ物に関する歌も4曲掲載した(表5)。

表5 食べ物に関する楽曲

曲名	作詞	作曲
きのこ	まど・みちお	くらかけ昭二
バナナの親子	関和夫	福田和禾子
カレーライスのうた	不詳	不詳
おべんとうばこのうた	不詳	不詳

「きのこ」や「バナナのおやこ」は歌いながら踊る活動に発展させやすい曲である。食育教育として使用したり、発表会の際に使用したりと活用できるとともに、バナナの親子は早口言葉にもなっており、言葉遊びとしても活用することができる。「カレーライスのうた」「おべんとうばこのうた」は手遊びとしてだけではなく、パネルシアターなどで視覚的に楽しむこともできる歌である。

2-6 動きを伴う楽曲

動きを伴う遊び歌として、表6に示した2曲を掲載した。

表6 動きを伴う楽曲

曲名	作詞	作曲
Head, Shoulders, Knees And Toes	不詳	不詳
あたま かた ひざ ボン	不詳	不詳

保育者が掲載を希望する曲には出てこなかったが、新版に望むこととして、自由記述で「英語の歌を載せてほしい」という意見があった。英語の歌はたくさんあり、例えば「ドレミのうた」が日本語の歌詞は著作権上載せることが不可能だが英語の歌詞は可能だったため、英語の歌詞にすることも検討した。しかし、幼児が歌うには難しすぎるため見送ることとなった。検討の結果、「Head, Shoulders, Knees And Toes」はよく知られている歌であり、身体の部位の英語を覚えることにも役立つ曲であること、また、歌詞を変えて歌うことにより体の他の部分の英語も覚えることができるため、この曲を採用することとなった。この曲と同じような日本語の曲、「あたま かた ひざ ぽん」も同様に体の部位を覚えることができる曲であり、全身を使って歌うことが出来る曲であるため、掲載することとした。「あたま かた ひざ ぽん」はロンドン橋のメロディを使って作られた曲として知られており、子どもたちにとっても親しみやすい曲である。

2-7 新規掲載曲の分析

基本的には保育現場でこれまで使用されてきているが、旧版に掲載されていなかった曲を中心に選曲した。「ちょうちょう」「ぶんぶんぶん」「こいぬのマーチ」「おかたづけ」「かもつれっしゃ」「さんぽ」などは長年日常的に使われている曲である。

また、発表会や卒園式などで使われやすい曲が保育者からの要望で多く挙げられた。特に新沢としひこの作品が4曲(「にじ」「世界中の子どもたちが」「さよならほくたちのほいくえん」「はじめの一步」)選ばれている。4曲とも1987年に作られた。元保育士のシンガーソングライターらが作詞作曲しており、子どものために作られた曲であることから保育者にも子どもたちにも受け入れられやすく、保育現場に浸透していると考えられる。

そして大きな特徴としては、NHKの幼児向け番組で放送された楽曲が多くを占めていることが挙げられる。「バナナの親子」「ほくのミックスジュース」は1982年に「おかあさ

んといっしょ」の月の歌として放送された。「どんな色がすき」（1992年）、「にじのむこうに」（1996年）も同様である。「やさしいもグーチーパー」「カレーライスのうた」「おべんとうばこのうた」「おにのパンツ」「幸せなら手をたたこう」も「おかあさんといっしょ」で歌われた曲である。「ホ！ホ！ホ！」は1972年に「気まぐれワイパー 幼児のためのミュージカル」で放送された。「ともだち賛歌」は1965年に「歌のメリーランド」という番組でアメリカ民謡に日本語の歌詞を付けて発表された。「みんなのうた」で放送された曲は「赤鼻のトナカイ」（1961年）「ピクニック」（1962年）、「手のひらを太陽に」（1962年）、「アイスクリームの歌」（1962年）、「ドレミのうた」（1962年）、「山の音楽家」（1964年）、「たのしいね」（1965年）、「動物園へ行こう」（1975年）である。前述したように「ちゃわんむしのうた」も「にほんごであそぼう」で放送された。選曲過程で意識したわけではなかったが、1曲1曲調べてみると結果としてNHKの幼児向け番組で放送された曲が45曲中20曲を占めており、初めて放送された年は1960年代から1990年代までと幅広い。歌謡曲であれば1960年代に発表された曲を現代の幼児が歌うことはほとんどない。しかし、これらの幼児曲はNHKの番組で時代を超えて何度も繰り返し放送されるため、保育者と幼児がリアルタイムでテレビ番組やCDなどを通して曲を共有することができ、歌い継がれていると考えられる。

鹿児島県の多くの保育者養成校や保育現場において共通教材として使用されている『うたとあそび』にこれらの楽譜として掲載することによって、今後もこのような曲を保育者が子どもたちと歌い、受け継いでくれることを願っている。

3. 弾きやすい楽譜のための取り組み

改訂前の質問紙調査では、「現在の『うたとあそび』は使いやすいですか。」という項目を設け、どのようにすれば選定した楽曲をよりよい楽譜として掲載できるのか、そのニーズを探ることを試みた。その結果についてはすでに筆者らの2018年の報告¹⁾でも述べたが、「どちらかという使いにくい」「使いにくい」と答えた保育者は118名（19.3%）であり、41名にも上る無回答者を加えると全体の4分の1を超える結果となった。その理由（複数回答可）として「伴奏が難しいから」97名、「コードネームが書いてないから」43名、「右手がメロディになっていないから」40名という結果であり、これらはいずれも伴奏の難易度に関わるものであると判断した。本章においては、保育者が伴奏について困難さを感じている点について分析することから始め、よ

り使いやすい楽譜にするための作業、特に編曲作業について述べたい。

3-1 伴奏へのニーズについての分析作業

質問紙の「コードネームが書いていないから」「右手がメロディになっていないから」については、筆者らもこのことを想定したうえで質問紙の選択肢に用意したものであり、納得のいくことである。その上で、「伴奏が難しいから」の詳細については、保育者の具体的な悩みや声を自由記述に期待しようと考えた。しかし、「ピアノ初心者には難しい。」「よく活用しているが、曲によっては伴奏が難しいため他の楽譜を使用している。」などの記述にとどまり、困難さの分析につながるものは十分に得られたとは言い難い。一方で、「伴奏が簡単な方が子どもたちの様子を見ながら弾くことができる。」や「やさしくてもきれいに弾ける曲がいい。」という前向きな声を受け、改訂委員会の中の幼稚園教諭らに分析のための助言を求めることとした。

「他の楽譜集の伴奏を使っている」や「伴奏が簡単であれば使用頻度が上がるであろう」といったことから、具体的に楽曲名が上がったのは「小鳥のうた」「オバケなんてないさ」「とんでったバナナ」などであった。これらはいずれもトリルやアルペジオなどの奏法や、付点のリズムやラテンのリズムパターンを弾きこなすことが容易ではない。さらに、伴奏と同時に歌うことを考えると、一層難しく感じるであろうと納得できる。（譜例1）



譜例1 ラテンのリズム「とんでったバナナ」より

他に、楽曲名が上がった「大きな古時計」や「ヤンチャリカ」などの楽曲では、歌の旋律のラインをなぞらない全く別の副旋律（譜例2における〈A〉）の存在がある。鍵盤楽器で伴奏する者が歌うことを勘案して作曲されたものではないのではないかと考えられる。



譜例 2 歌の旋律と副旋律が大きく異なる例「ヤンチャリカ」より

いずれの楽曲にも時計が時間を告げる様子、小鳥がさえずる様子、リズムによる楽しさなどそれぞれに子どもたちを感じ取ってもらいたい要素も多く盛り込まれており、作曲者の意図や楽曲の持ち味を損なう結果になってはいけな
いと判断した。幸いにも、要望には「ピアノ初心者に向けても同じ楽譜で2通り譜面があれば活用しやすい」「正式な伴奏も残してもらえるとありがたい」などの声もあったため、2通りの楽譜を掲載することも検討の対象とした。

3-2 掲載楽譜の方針と分類

前項の結果も考え合わせ、掲載する楽譜は以下の5つの方針によって分類することとした。

- ① 旧版に掲載されている楽譜や原曲楽譜をそのまま使用する楽曲
- ② 旧版に掲載されている楽譜をそのまま使用するが、新たに和音記号も付す楽曲
- ③ 今回新たに編曲した伴奏を掲載する楽曲
- ④ 今回新たに編曲した伴奏に、さらに和音記号も付す楽曲
- ⑤ 伴奏は付けずに、メロディのみの楽譜とした楽曲

①については、旧版の伴奏が比較的易しいと判断した楽曲、加えて使用頻度が高く、これまでと異なる伴奏譜になると困惑する保育者もいるのではないと思われる楽曲である。(表7)

表7 旧版に掲載されている楽譜や原曲楽譜をそのまま使用する楽曲

大きなたいこ	サンタクロース
くつが鳴る	やぎさんゆうびん
おかあさん	お正月
おうま	もちつき
あめふり	うぐいす
あまだればったん	思い出のアルバム
おとうさん	卒業生を送る歌
ありさんのおはなし	おはようの歌
水あそび	おはようのうた
海	どこでしょう
花火	おべんとう
お月さま	はをみがきましょう
ポンポコたぬき	おかえりのうた
かわいいかくれんぼ	さよならのうた
どんぐり	おはなし
きのこ	あくしゅでこんにちは

②については、コードネームの掲載を希望する声に応えたものである。(表8) また、原曲通りの伴奏を残しつつ、簡易な伴奏に対応することもねらったものである。結果としてコードネームではなく、和音記号(=ディグリーネーム)を使用することとなった経緯は、次項で述べる。

表8 旧版に掲載されている楽譜をそのまま使用するが、新たに和音記号も付す楽曲

チューリップ	おはなしゆびさん
おはながわらった	森のくまさん
めだかの学校	こぶたぬきつねこ
ふしぎなポケット	どんぐりころころ
こいのぼり	運動会
こたりのうた	きくのはな
ぞうさん	バスごっこ
おたまじゃくし	もみじ
あめふりくまのこ	たき火
かたつむり	あわてんぼうの サンタクロース
大きな古時計	すうじの歌
おつかいありさん	たこの歌
しゃぼん玉	雪のペンキやさん
うみ	北風小僧の寒太郎
たなばたさま	豆まき
トマト	うれしいひなまつり
おなかのへるうた	一年生になったら
とんぼのめがね	

③については、これまで右手がメロディでなかった楽曲、今回新たに掲載することとなった楽曲が多い。（表9）これらは、伴奏が楽曲のもつリズム感を巧みに表現する必要があり、その結果、メロディは歌うこととして省略され、左手のベースと右手のコードを駆使した伴奏になっていることが多かった。伴奏を簡易にするにあたって、楽曲の持ち味を損なわないように留意した点については、後に述べる。また、編曲著作権との関わりにより、編曲しなければ掲載できない楽曲もあり、新たに編曲作業を加えた楽曲もあることを申し添えたい。

表9 今回新たに編曲した伴奏を掲載する楽曲

ぶんぶんぶん	雪
ちょうちょう	おにのパンツ
手をたたきましょう	つぼみ
ピクニック	春よ来い
かえるの合唱	さよならぼくたちのほいくえん
雨	Happy Birthday to You
とけいのうた	おかたづけ
きらきらぼし	ゆりかごの唄
せみのうた	手をつなごう
南の島のハメハメハ大王	ロンドン橋
ヤンチャリカ	カレーライスのうた
とんでったバナナ	やきいもグーチーパー
バナナのおやこ	むすんでひらいて
アイスクリームの歌	にじ
アイスクリーム	ドレミの歌
こおろぎ	こいぬのマーチ
おへそ	さんぽ
おもちゃのマーチ	にじのむこうに
キリンさん	どんな色がすき
山の音楽家	手のひらを太陽に
でぶいもちゃんちびいもちゃん	世界中のこどもたちが
まつぼっくり	幸せなら手をたたこう
大きな栗の木の下で	ホ！ホ！ホ！
線路はつづくよどこまでも	たのしいね
かもつれっしや	にんげんっていいな
動物園へ行こう	ぼくのミックスジュース
小ぎつね	ともだちになるために
ジングルベル	ともだち賛歌
赤鼻のトナカイ	はじめの一步
カレンダーマーチ	

④については、③と同様の理由であるが、編曲の結果初心者が演奏するには難易度が高すぎると判断したものである。（表10）

表10 今回新たに編曲した伴奏に、さらに和音記号も付す楽曲

せんせいとおともだち	アイアイ
お母さん	オバケなんてないさ
おんまはみんな	

⑤については、保育活動においてピアノ伴奏をしながら実践することはあまりないと判断した楽曲、歌声のみでシンプルな働きかけをしてほしい楽曲である。（表11）

表11 伴奏は付けずに、メロディのみの楽譜とした楽曲

ほたるこい	おべんとうばこのうた
ひらいたひらいた	あたま かた ひざ ポン
かごめかごめ	Head, Shoulders, Knees And Toes
なべなべそこぬけ	泣こかい飛ばかい
おしくらまんじゅう	サラリと勝ったよ
通りゃんせ	ちゃわんむしのうた
あんたがたどこさ	ねんねがせ
おちゃらかホイ	浦島太郎
たけのこ1本おくれ	金太郎
げんこつやまのたぬきさん	うさぎとかめ
お寺のおしょうさん	桃太郎
いっぽんばしこちょこちょ	

また、原曲における表現を大切にしたいが、その伴奏の難易度が高いために編曲した楽譜も掲載したいと考えた楽曲に関しては、①と③の2種類の楽譜を掲載した。（表12）

表12 ①と③の2種類の楽譜を掲載する楽曲

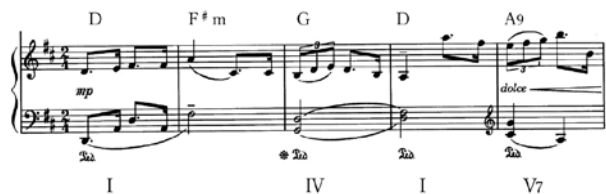
山のワルツ	そうだったらいいのにな
犬のおまわりさん	サッチャン
コンコンクシャンのうた	おもちゃのチャチャチャ

3-3 和音記号採用の経緯

先に述べたように、コードネームを付すことに対する要望は多かった。コードネームは多くの養成校の授業で扱われているため、その基礎知識はどの保育者もすでに持ち合わせているものであり、即興的に伴奏を付けるには便利な手段である。しかし、今回改めて和音記号（＝ディグリーネーム）を採用したのは、次の理由による。

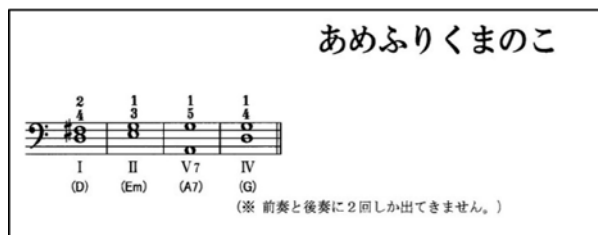
一点目として、いくつかの曲集を検討した結果、付けられた伴奏に忠実なコードを記載することになると、見慣れないコードが出てくる可能性が出てきたことによる。検討すれば、少ないコードで伴奏が付けられる可能性があるに

もかわらず、コードネームによって、かえって難易度を上げてしまう。加えて、楽譜に全く異なるコードを記載することは躊躇された。「あめふりくまのこ」の前奏を例に挙げる。



譜例3 コードネームと和音記号の比較「あめふりくまのこ」

作曲者の伴奏に基づいてコードネームを付すと、楽譜上部4種類であり、F#mやA9は見慣れない、あるいは即座に判断して鍵盤を抑えることはできないコードだと思われる。それと比較して、楽譜下部の和音記号はシンプルなものに記載することにした。F#mは二長調であるこの曲においてはⅢの和音であり、Ⅰが代用できる。さらに、歌の部分になるとⅠ→Ⅱ→Ⅴ→Ⅰの循環コードによって伴奏することができ、常に次に弾くべき和音を予想できるため、初心者には容易な方法であると考えた。実際の楽譜では譜例4のように示した。三和音ではなく構成音のうち2音にしたのは、和音の連結における禁則等に配慮したことと、より簡易に演奏できることを目指したためである。



譜例4 実際に楽譜に掲載した例

二点目として、コードネームは調性に左右されることなく確実に構成音を示すことのできる優れたものであるが、演奏しながら正確な和音を弾くことは、決して容易ではないという点である。学生の実態を見ると、根音の上に3度ごとに音を重ねたものであることを理解するまではよいが、Cは「ドミソ」であるがDは「レファ#ラ」だという答えを即座に導き出せる者は多くない。演奏しながらの判断は一層難しい。さらに、Cはハ長調では基本形のまま「ドミソ」でよいが、ヘ長調になると基本形のままで弾くと大きくポジション移動をすることとなり、そのことに四苦八苦して

いる姿に出会うこともある。「ドミソ」ではなく、「ミソド」を使用するように助言すると演奏が可能になり、転回形についても理解しているが、このことについても、即座に判断しながら弾くことは決して容易ではない。結局、根音のみを弾くことを推奨することも多く、コードネームそのものの知識的な理解と、実際に活用できることには隔たりがある。学生への指導場面において、コード奏も結局は多くの経験や練習が欠かせないものだと感じてきた点は、保育者にとっても同様のニーズがあるのではないかと考え、そのことに対応できると今回の和音記号の採用に至った。実際に、質問紙調査の自由記述には、簡易な伴奏を求める理由として「練習する時間がない」とあり、多忙な日常の中ではつつい弾ける曲ばかりを用いがちな実態も垣間見えた。なるべく少ない和音で伴奏付けできる手立てとして、その楽曲において使用すべき和音記号を実際の音によって示すこととし、コードネームも共に記載することとした。

3-4 編曲作業における配慮事項

右手をメロディにする要望が多かったが、旧版において右手がメロディになっていないものは、歌唱パートとして記されているメロディと和音記号を弾くことによって対応できると考えた。

右手をメロディにすると、伴奏を担当するのは当然のことながら左手のみということになる。左手のみで、ベースとコード、さらに楽曲の持ち味につながるリズムの要素をすべて盛り込むこと、それに加えてなるべく容易に弾けるように編曲するには限界があった。そのため、以下の点に配慮した。

3-4-1 ポジション移動の問題への対応

先にも述べたが、初心者にとっては今セットされているポジションから、大きく手を動かすことは難しい。移動先を視覚的に確認してから手を動かすことは、その作業に時間がかかってタイミングがずれたり、上手く移動できたとしてもミスタッチしたりして、中断の一因となる。ポジション移動がないことを優先させると、使用音を5音内におさめなくてはならないことになるが、指くぐり、親指や小指を少し伸ばすことでクリアできるといった点を検討しながら行った。やむを得ず、大きくポジション移動しなければならない場合には、直前に弾いていた手の形を変えずに、移動することに集中できるように配慮した。これらを分かりやすく伝えるために、今回の作業では指使いを検討することも併せて行い、初心者が取り組みやすいように指番号を付けた。

3-4-2 リズムの問題への対応

学生の実態を見ていると、右手と左手のリズムが異なると弾けないという事例に出くわすことが多い。付点やシンコペーションなど、右手のメロディのリズムが変化するとそれにつられて左手も同じリズムになってしまう、あるいは左手のリズムが1拍を分割したものになると、そのことに気を取られてメロディどころではないといったケースもある。しかし、このような学生も拍を感じることを指導すると弾けたり、同じリズムパターンの繰り返しであれば練習に取り組むことができたりするため、そのことを念頭に置いて編曲に取り組んだ。当然のことながら、すべての楽曲に、このような配慮ができるわけではない。特に近年発表された子どもの歌の中には、リズムの特徴を除くと、せっかくの楽曲の持ち味を損ねてしまうことも少なくない。それらは主にベースによって表現され、楽曲の楽しさや推進力に結びついている。そこで、リズムに特徴的な楽曲は、ベースを中心とした編曲にすることとした。拍に同期したリズムでない場合（例：♪ ♪ ♪ ♪ ♪）は三和音における根音のみに限定し、リズムに集中できるように配慮した。

3-5 まとめ

多くの要望に応えること、その中でも簡易にすることと、より美しいあるいはより楽しい音楽を奏でること、これらのすべてを叶えることには当然のことながら限界がある。近年は複雑なリズムの楽曲も多く、易しさとその曲らしさの妥協点を見出すことが今回の編曲作業であった。この妥協点において優先させたことについてはある程度述べる事ができたが、十分な報告とは言い難い。今回の報告において語り尽せなかった点、分析等の詳細は次の報告に見送りたい。

編曲作業を通して、ピアノを弾くことを苦手とする学生や保育者のつまづきをより緻密に分析すること、さらにその手立ての必要性を痛感した。まずは、今回の編曲がつまづきを軽減できるものになったかどうかについても検証を行い、日々の授業における指導や助言に生かしたい。次稿においてはこれらも併せて報告できるよう、試行錯誤を繰り返しながら授業実践に取り組んでいきたいと考える。

4. 新版『うたとあそび』の使用感に関する質問紙調査

K短期大学児童教育学科では、2019年4月から従来の『うたとあそび』に代わって新版『うたとあそび』を授業用テキストとして使用している。本学の2年次生は、旧版を1年次に使用していたが、内容の改訂点を伝えたところ、8

割強の学生が自ら新版を購入した。筆者らは、学生が新旧両版を使用することは唯一の機会となると考え、2019年11月に2年次生に対して、旧版と新版を比較したアンケートを実施した。

4-1 アンケートの内容

アンケートの内容については以下の通りである。

①旧版に比べて新版は使いやすいか。

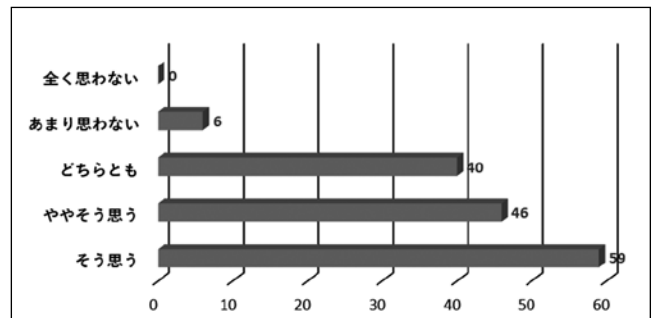


図1 新版は旧版より使いやすいか n=151

質問①は、新版について旧版と比較して使用者がどのように感じているかを質問した。有効回答数は151名である。質問①では「そう思う」59/151名、「ややそう思う」46/151名で69.5%が使用感について肯定的に答えている。質問に対して「それはどうしてか」の理由を自由記述させた。以下はその内容である。

○肯定的主な意見*（ ）は同意見数

- ・指番号がある（39）
- ・簡易伴奏がある（24）
- ・楽譜が大きく見やすい（42）
- ・赤本に無い新曲がある
- ・目次で探しやすくなった（8）
- ・最近の歌詞を使用している（6）
- ・曲数が増えた（8）
- ・コードネームがある（5）
- ・譜読みがしやすい（8）
- ・月ごとに関連した曲
- ・サイズが大きい（10）

○否定的意見*（ ）は同意見数

アンケート中の「どちらともいえない」「あまりそう思わない」と回答した意見である。本のサイズに関する意見は肯定的意見と否定的意見に分かれている。

- ・本のサイズが大きい（13）
- ・重い（10）

- ・左手が易しすぎる
- ・旧版のほうが弾きやすい曲がある (8)

新版では、指番号や簡易伴奏が多く採用されているがこれに関しては肯定的意見が多い。本のサイズに関しては旧版のB5サイズに対して新版はA4サイズであり、重量も増加しているために「楽譜が大きく見やすい」と回答した学生が27.8% (42/151名) いたが、「サイズが大きく重い」と回答した学生が15.2% (23/151名) いた。

②新版の掲載曲は旧版より良い点があるか。

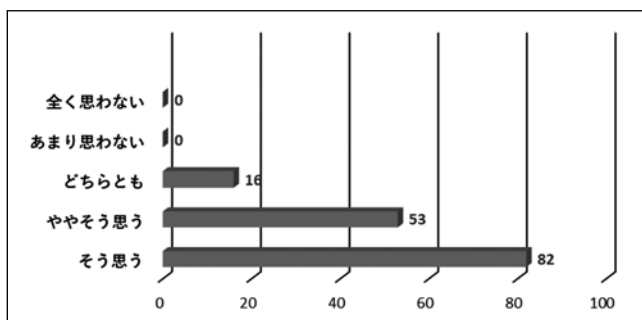


図2 新版の掲載曲は旧版より良い点があるか n=151

質問②は、新版に記載されている幼児曲について掲載曲165曲のうち60曲を入れ替えたことについて質問した。有効回答数は151名である。質問②では「そう思う」82/151名、「ややそう思う」53/151名で89.4%が肯定的に答えている。質問に対して「それはどうしてか」の理由を自由記述させた。以下はその内容である。

○肯定的主な意見*()は同意見数

- ・伴奏が弾きやすい (3)
- ・演奏が簡単になった (12)
- ・現場で使用している曲が多い (47)
- ・最近の曲が多い (24)
- ・よく歌われる歌詞になっている (2)
- ・季節ごとの連関図があり分かりやすい (3)
- ・「おかあさんといっしょ」の曲がある (4)
- ・曲をたくさん覚えられる (3)
- ・本のサイズが大きく楽譜が見やすい (11)
- ・指番号がある (18)

○否定的意見*()は同意見数

- ・音が間違っているところがある
- ・旧版の編曲が好き

新版には保育者の意見を基に「現場で使用している曲」「最近の曲」を中心に掲載したため、学生達もそれらを良かった点として捉えているようであり、今後の活用が期待

できる。また、本のサイズや指番号、伴奏の編曲などにも肯定的意見がある。一方否定的意見では「曲の音が間違っている」との指摘があるが、第4版でこれらの修正を行った。

③新版の楽譜は旧版より演奏しやすいか。

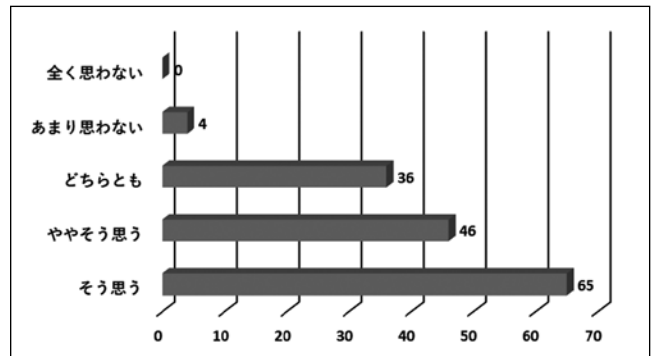


図3 新版の楽譜は旧版より演奏しやすいか n=151

質問③は新版の掲載曲においては、学生や現場でより気軽に演奏できることを目指して編曲したことについて質問した。編曲については出来るだけ指番号や代表的なコードネームを示して演奏の利便性を高める工夫をした。また、特に左手をより簡易な伴奏にした編曲を多く取り入れた。このことに関して、有効回答数151名のうち「そう思う」65/151名、「ややそう思う」46/151名で73.5%が肯定的に答えている。質問に対して「それはどうしてか」の理由を自由記述させた。以下はその内容である。

○肯定的主な意見*()は同意見数

- ・最近の知っている曲が多い (13)
- ・簡単に感じる
- ・コードネームがある (17)
- ・簡易な伴奏になり弾きやすい曲がある (29)
- ・簡単な伴奏 (15)
- ・歌いやすくなった
- ・書き込みやすい
- ・自分のレベルに合っている
- ・旧版より弾けるようになった (2)

○否定的意見*()は同意見数

- ・主に旧版を使用している
- ・曲による
- ・旧版の編曲の方が良い
- ・少し弾きにくい曲がある
- ・あまり変わらない (5)
- ・掲載曲は旧版の方が多い

- ・文字が小さい
- ・伴奏が難しくなった曲がある（2）
- ・簡単になりすぎている（2）

肯定的意見では、「最近の知っている曲が多い」「簡易な伴奏で弾きやすい」という意見が多く、学生の曲に対する興味関心や意欲を高めることが出来る考える。また否定的意見では、「旧版の編曲が良い」「弾きにくい曲がある」という意見がある。これらについては、今後さらに精査して見直していく必要がある。

④将来現場で連関図を使用したいか。

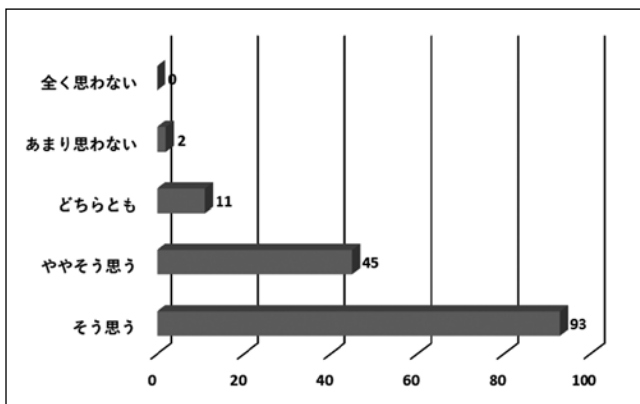


図4 将来現場で連関図を使用したいか n=151

質問④は、新版で新たに採用した各月ごとの連関図について、将来活用したいかを質問した。アンケートの対象学生は4ヶ月後には保育者として活動する学生が多い。その時に連関図を使用して、系統的に幼児曲を保育の現場で活用することを期待している。

このことに関して、有効回答数151名のうち「そう思う」93/151名、「ややそう思う」45/151名で91.3%の学生が肯定的に答えている。これは、ほとんどの学生が連関図を重要と考えている。今後は各現場での年間計画などに活かすことを期待している。

⑤連関図を授業等で参考になっているか。

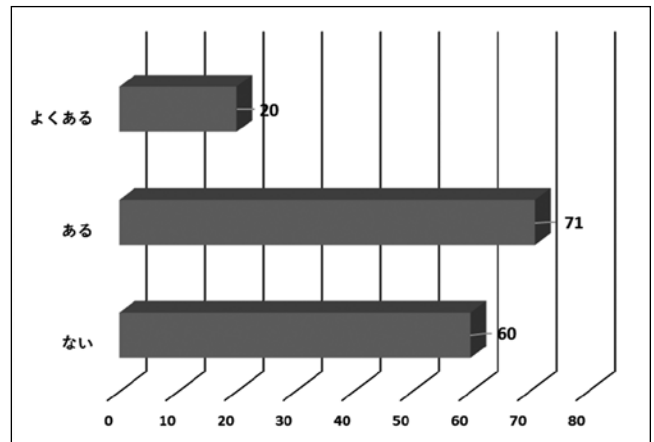


図5 連関図を授業等で参考になっているか n=151

質問⑤は、新版で採用した連関図について、現在どのように使用しているかを質問したものである。有効回答数151名のうち「ない」60/151名（39.7%）、「ある」71/151名、「よくある」20/151名で60.2%の学生が連関図を授業において参考になっている。これは、予想より多くの学生が連関図を利用している。また、連関図の使用についてどの授業で使っているかを自由記述で回答させたが、歌唱やピアノレッスン及びピアノ練習、伴奏が多く、活用頻度が高いことがわかる。以下はその回答である。

*（ ）は同意見数

- ・歌唱（110）
- ・ピアノレッスン（43）
- ・ピアノ練習や伴奏（30）
- ・連関図による季節の説明
- ・新曲の練習（3）
- ・リトミック
- ・旧版が難しいとき

⑥新版で気づいたこと。

質問⑥は自由記述でその他気づいたことを質問した。新版をより使用しやすいピアノテキストとして活用するために、今後の修正すべき点があれば参考にしていきたい。以下はその内容である。

- ・買って良かった
- ・たくさんの曲があり、レパートリーが広がる
- ・音ミスの修正
- ・旧版の大きさが良い（4）
- ・もっと指番号が必要
- ・紛失しにくい

- ・とても良い
- ・楽譜のミスがある (2)
- ・左手が難しい
- ・どの楽譜が簡易伴奏かわからない
- ・採用されていない曲がある
- ・幼児のために出来るだけ活用する
- ・BGM で使用する
- ・昨年変えて欲しかった

5. 総括

『うたとあそび』を改訂するにあたり、筆者らは特に選曲と編曲の作業に多くの時間を割いた。掲載することとなった全160曲の選曲については質問紙調査による保育者らの意見を反映したものであるため、使用者も納得できるものになっていると思われるが、筆者らの視点によって編曲された新版の楽譜に、さらなる改良点を見つけていくことが課題となることは当初から予想された。そのため、手始めに、今回、新旧両方の版を経験した K 短期大学の2年生を対象に質問紙調査を行った結果が4章の報告である。全体的には概ね肯定的な回答であったが、やはり簡易伴奏編の在り方、編曲した伴奏の難易度など、まだ改善の余地はある。弾き難さの原因は、これまでの慣れた伴奏と異なるためか、個人の好みの問題か、などを知るためにも、インタビュー調査等を通したさまざま声を集め、幼児曲集としての機能を高めた活用しやすいものを目指したい。

さらに、この幼児曲集の編纂を行うにあたって当初の目的であったように、歌や音楽が保育に活用されることを目指すため、今後も現場の保育者や学生に質問紙調査等を行い、定期的に掲載曲を見直す機会を設けていきたい。

参考文献

1. 中村礼香、新村元植、中村ますみ「保育者のニーズに沿った幼児曲に関する研究 (1) —質問紙調査を基にした『うたとあそび』の楽曲選定の過程—」鹿児島女子短期大学附属南九州地域科学研究所第34号 pp.59-71 (2018)
2. 中村ますみ「音楽療法における音楽提供のために～コードネームを活用した伴奏練習の一方法」九州公私立大学音楽学会誌 第2号 (2013)

参考 URL

- ・ NHK みんなのうた <https://www.nhk.or.jp/minna/>
- ・ NHK おかあさんといっしょ これまでの月の歌 http://www.nhk.or.jp/kids/program/okaasan_songs.html

(2020年1月14日 受理)